

# カローラ スポーツ モデリスタ バージョン

## フロントスポイラー 取付要領書

設定型式:MZEA12H/ZWE219H 設定グレード:全車

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。  
本書は、**フロントスポイラー**の取付要領について記載してあります。  
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

### 取り付け上の注意事項

- 取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意して下さい。
- 商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- 車両へ商品を取り付ける際は、左右1名づつ2名で作業を行なって下さい。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、**必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。**  
(PACプライマーN-200を本品に添付)
- (重要) **プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。**
- (重要) **両面テープは、外気温が20℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。**
- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了して下さい。
- 両面テープのプライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、イソプロピルアルコール(IPA)等で完全に拭き取って下さい。
- ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。) ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、イソプロピルアルコール(IPA)等で脱脂をきちんと行なって下さい。
- (重要) **両面テープの圧着を充分に行なって下さい。49N(5kgf)**
- フェンダーアーチ部等のビス本締めは両面テープ貼り付け後3時間以上放置後行なって下さい。

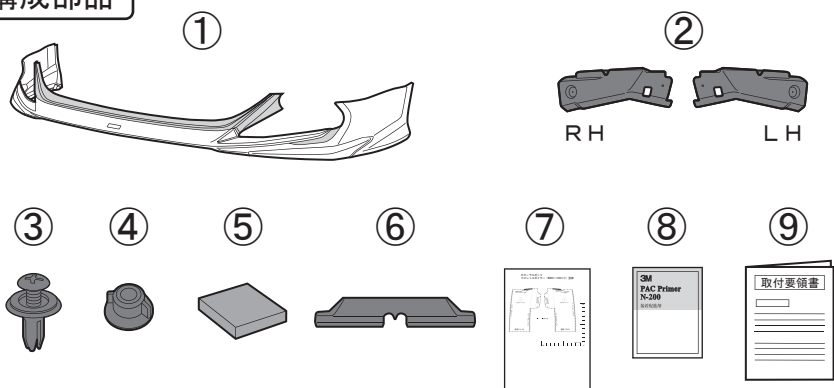
### 取り付け完了後の点検・注意事項

- フロントスポイラーが、車両バンパーに確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、**確実に圧着**されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、フロントスポイラー及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、**最低3時間**は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。(両面テープの剥がれ、車両バンパーとフロントスポイラーとの間に隙間が発生するおそれがあります。)



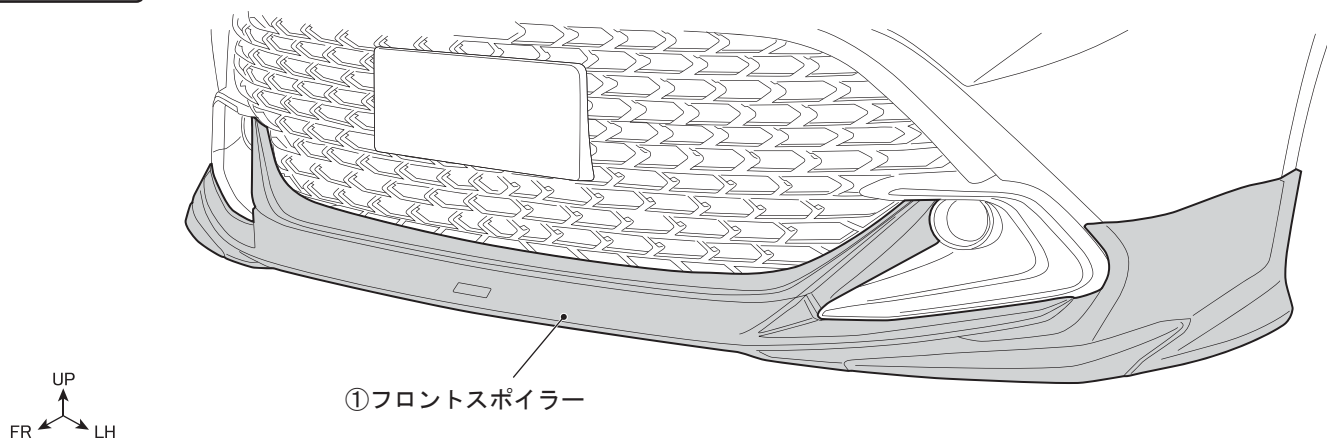
アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品



No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	リテーナー (RH/LH)	各 1
③	スクリベット	4
④	クリップナット	2
⑤	エプトシーラー	2
⑥	位置出しゲージ	1
⑦	型紙	1
⑧	PACプライマー (N-200)	1
⑨	取付要領書	1

取付概要



# 取付手順

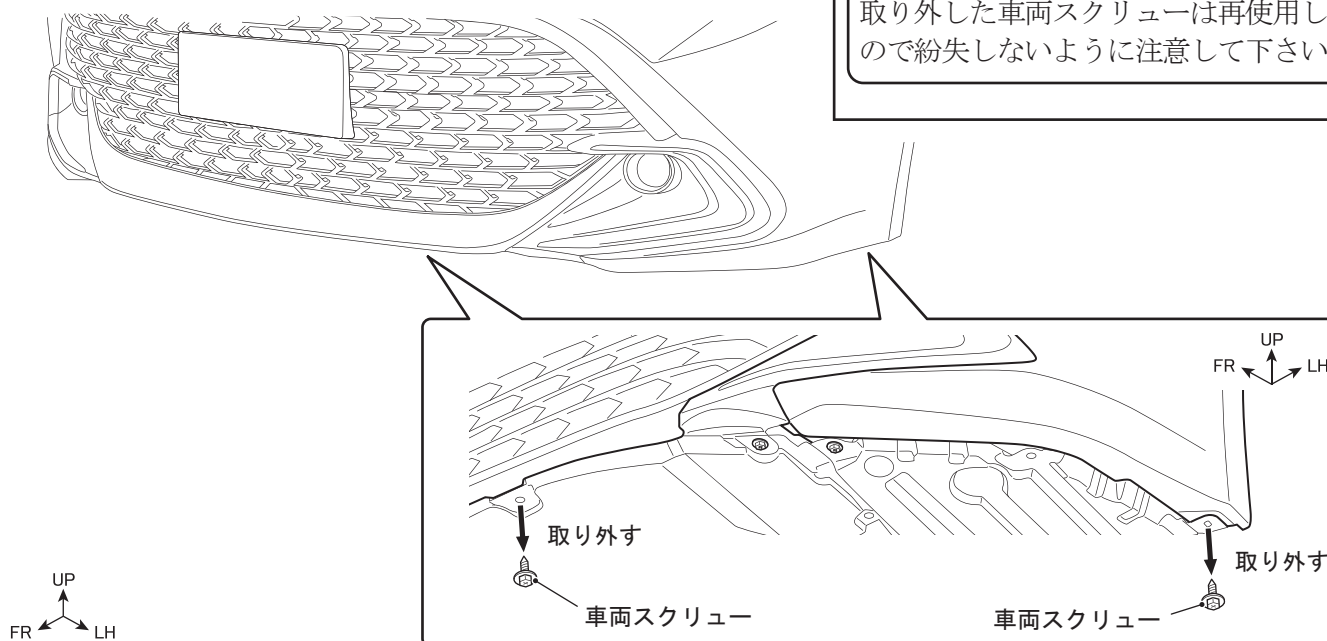
(1) 部品の取り外し

LH図示 ※RHも同様に

1. 車両スクリューを取り外す。  
(左図、下図参照)

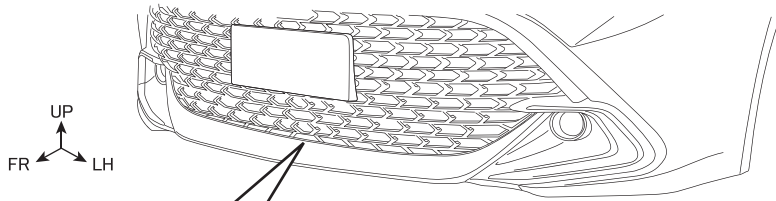
**アドバイス**

取り外した車両スクリューは再使用しますので紛失しないように注意して下さい。



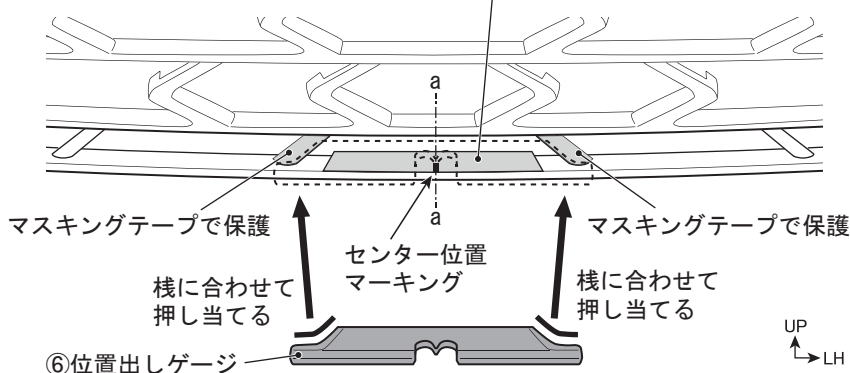
(2) 取り付けの位置出し

LH図示 ※RHも同様に

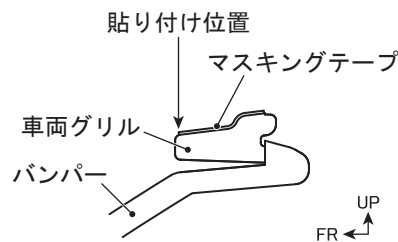


1. 取り付けのセンター位置出しのため、図の様に車両グリルにマスキングテープを長さ約50mm貼り付ける。車両グリルの棧をマスキングテープ等で保護し、⑥位置出しゲージを棧に合わせて押し当てて、センターの位置をマーカー等でマーキングし、⑥位置出しゲージと保護のマスキングテープを外す。  
(左図、下図参照)

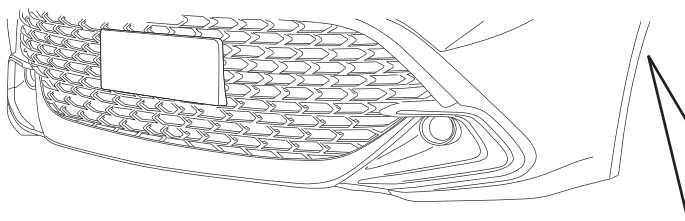
位置出し用マスキングテープ



[a-a 断面図]



LH図示 ※RHも同様に

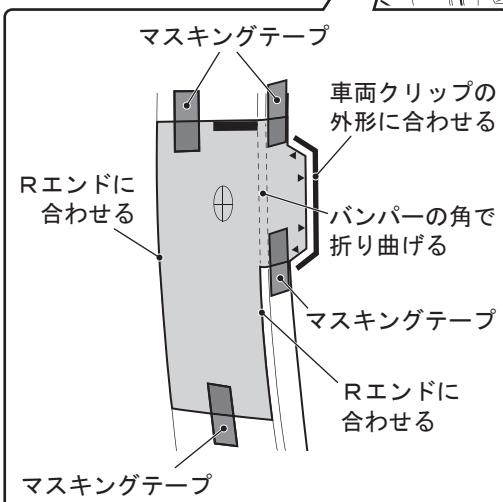


2. 取り付け用の穴開けと高さ位置出しに⑦型紙(LH)を切り取り線で切り抜き、フェンダーライナーの車両クリップの外形に型紙の▲印を合わせ、バンパーの角に合わせて折り曲げ、前後の端がバンパーのRエンドに合う様に、マスキングテープで貼り付ける。  
(左図参照) (左右各1カ所)

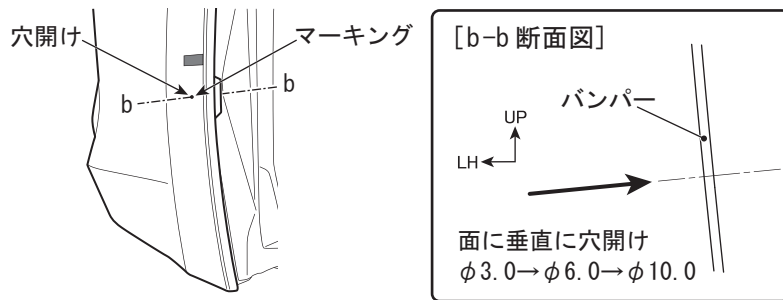
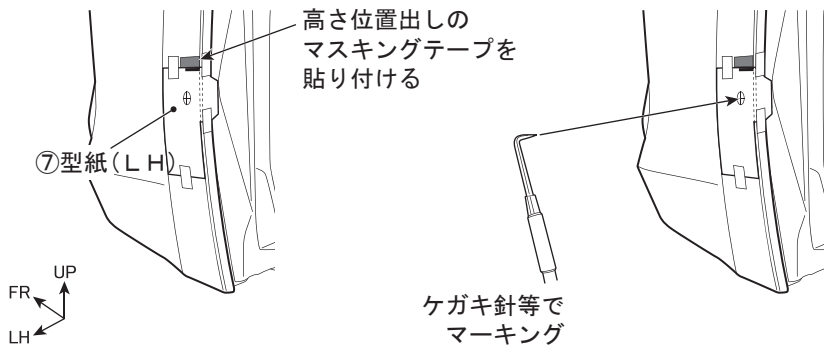
バンパー 車両クリップ

⑦型紙(LH)

FR UP LH



LH図示 ※RHも同様に



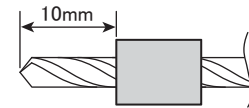
3. ⑦型紙(LH)上辺の太線部に合わせて高さ位置出しの、マスキングテープを貼り付ける。  
(左図参照) (左右各1カ所)

4. ⑦型紙(LH)の穴開け位置にケガキ針等でマーキングする。  
(左図参照) (左右各1カ所)

5. ⑦型紙(LH)を外し、穴開けのマークに合わせて、下穴φ3.0→φ6.0→本穴φ10.0の順で、穴を開ける。  
(左図参照)

👉 アドバイス

傷つき防止のため、ドリル先端から約10mmの位置に、養生テープを巻いてください。

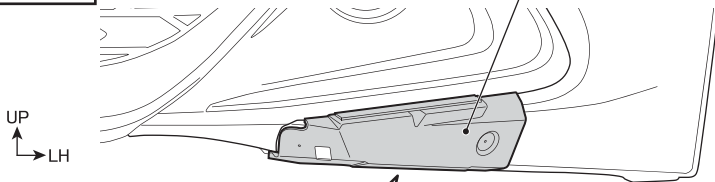


※穴のバリを除去して下さい。

### (3) リテーナーの取り付け作業

LH図示 ※RHも同様に

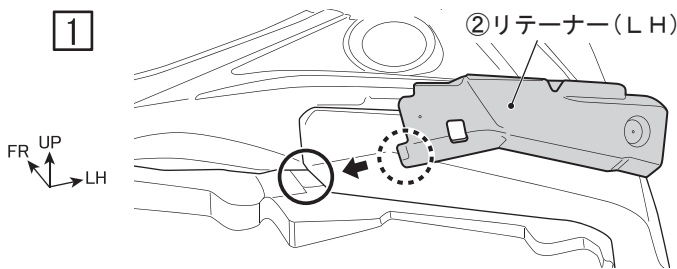
②リテーナー(LH)



- ②リテーナー(LH)を車両バンパーの形状に合わせて被せ、養生テープで仮固定する。  
(左図、下図参照) (左右各1カ所)

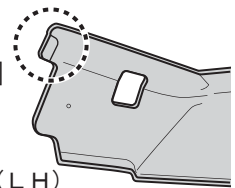
#### 位置合わせ手順

1



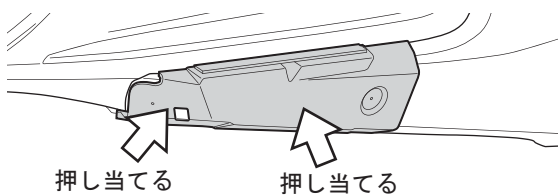
- 1 バンパーの凹形状 (左図○部) に ②リテーナー(LH)の凸 (○部) を合わせる。

[凸形状：裏面視]



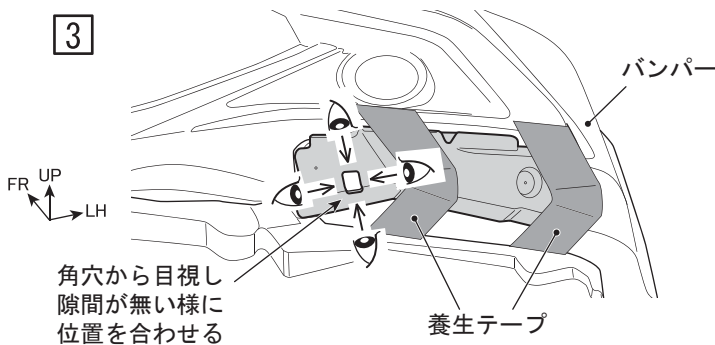
②リテーナー(LH)

2



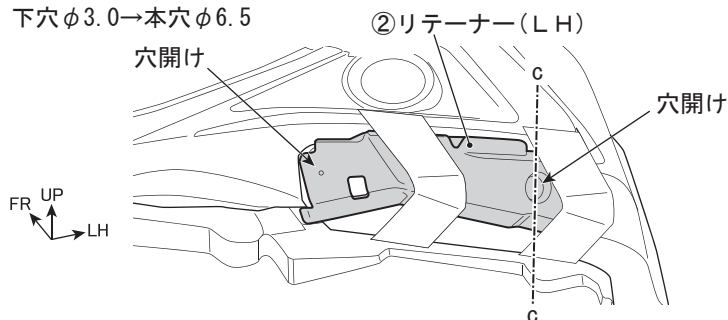
- 2 白矢印の面をバンパーに押し当てる。

3



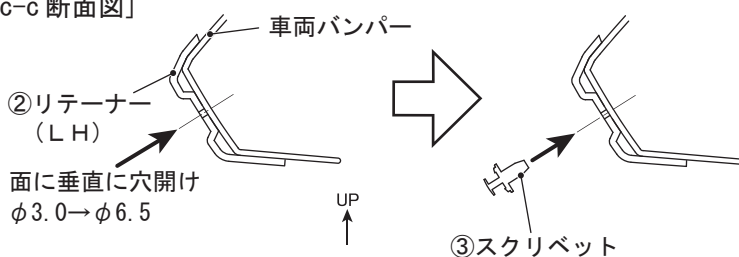
- 3 ②リテーナーの角穴から目視しバンパーと②リテーナーを隙間なく密着させ、養生テープで仮固定する。

穴開け 下穴φ3.0→本穴φ6.5



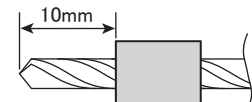
2. 位置がズレない様に注意して②リテーナー(LH)の穴位置で車両バンパーと一緒に貫通で下穴φ3.0を開け、本穴φ6.5を開ける。  
(左図参照)  
バリを除去し、③スクリベットで固定する。  
(2カ所)

[C-C断面図]



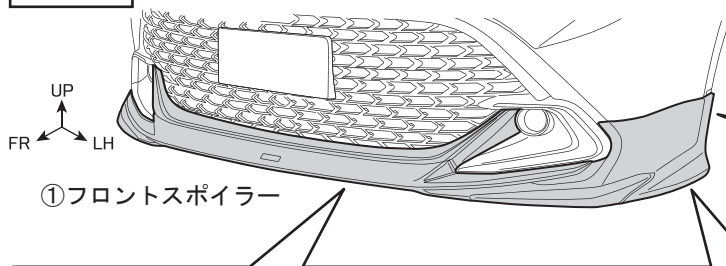
#### アドバイス

傷つき防止のため、ドリル先端から約10mmの位置に、養生テープを巻いてください。

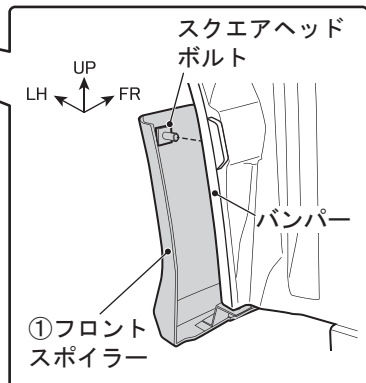
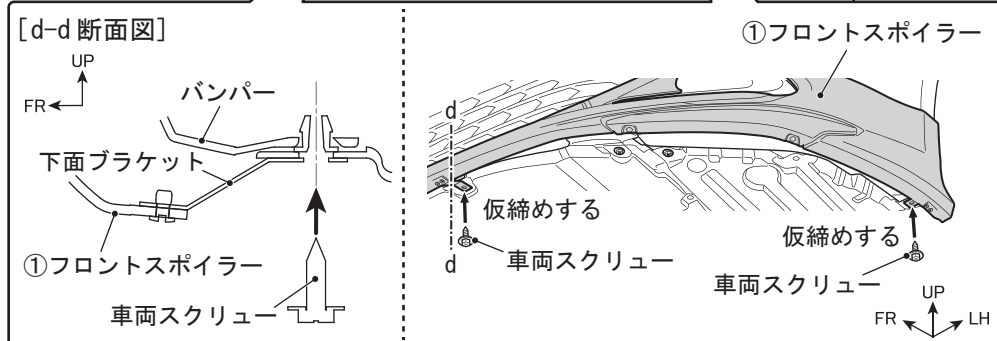


#### (4) 仮組とプライマー塗布

LH 図示 ※RHも同様に

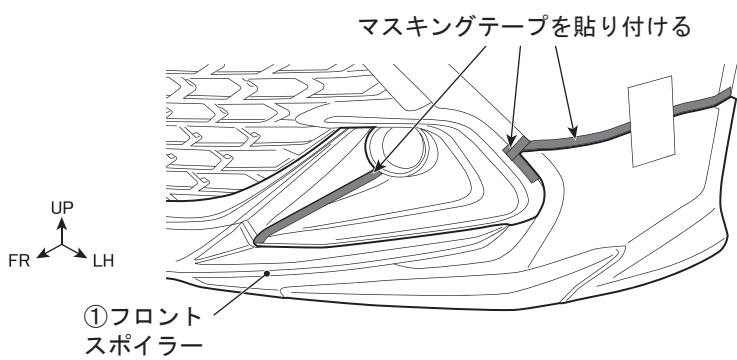
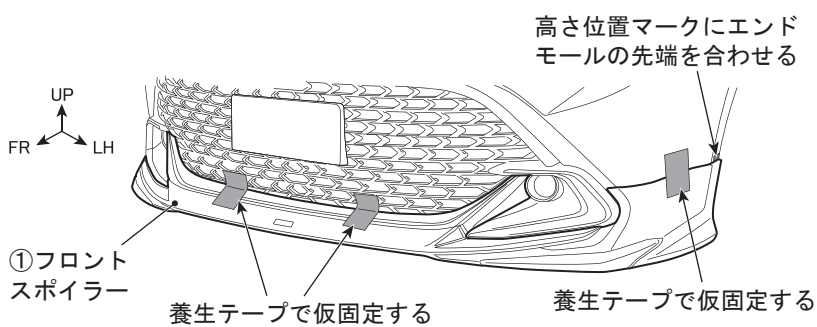
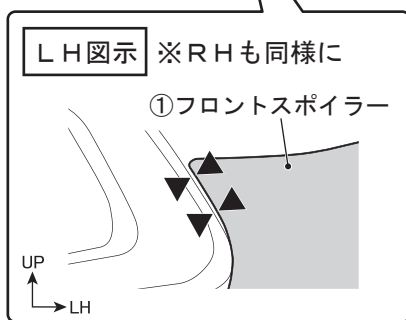
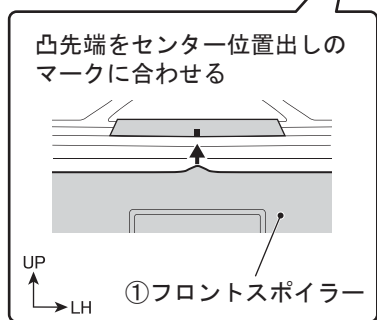
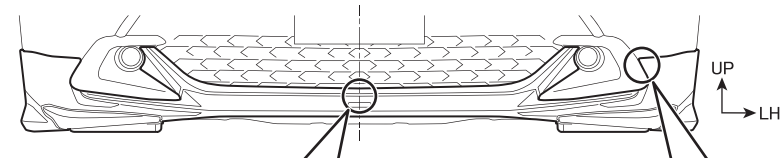


① フロントスポイラー



1. ①フロントスポイラーを車両バンパーと②リテーナーに載せる様に被せ、左右のスクエアヘッドボルトを(2)の手順で開けた穴に通して、下面ブラケットを車両スクリューで仮締めする。  
(左図、下図参照)

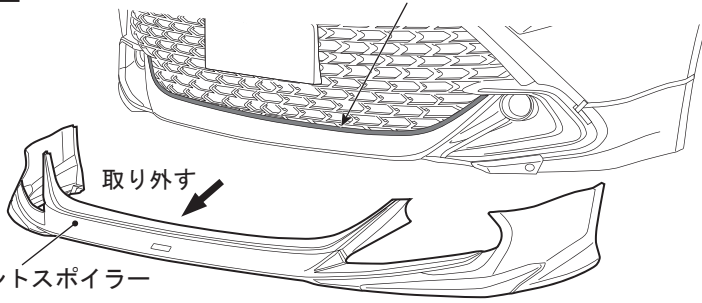
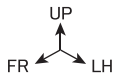
2. ①フロントスポイラー中央の凸先端をセンター位置出しのマークに合わせて車両グリルに押し当て、側面の高さ位置マークにエンドモール先端を合わせ左図の▶◀部分の隙を、左右均等になる様にして養生テープで仮固定する。  
(左図参照)



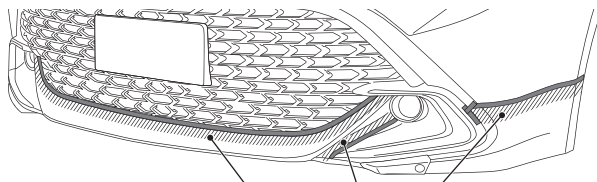
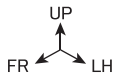
3. 脱脂及びプライマー塗布のため、①フロントスポイラーのエンドモール先端と、左図の位置の端末に合わせてマスキングテープを貼り付ける。  
(左図参照)

LH図示 ※RHも同様に

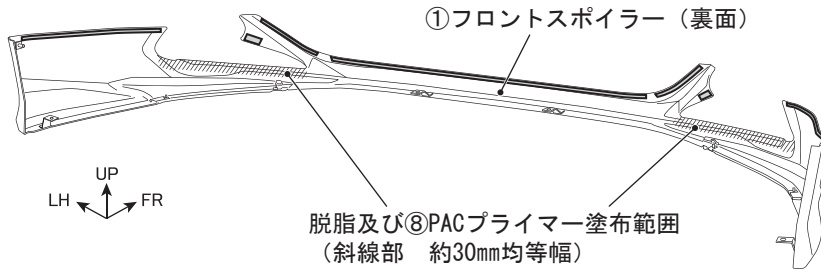
マスキングテープを貼り付ける



①フロントスポイラー



脱脂及び⑧PACプライマー塗布範囲  
(斜線部 約30mm均等幅)



①フロントスポイラー (裏面)

脱脂及び⑧PACプライマー塗布範囲  
(斜線部 約30mm均等幅)



4. ①フロントスポイラーを一旦取り外し、車両グリルにマスキングテープを貼り付ける。  
(左図参照)

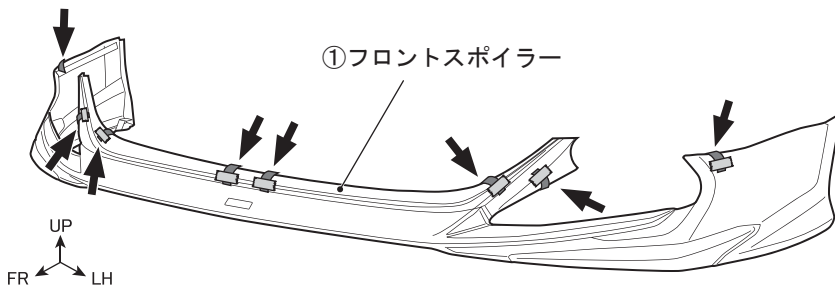
5. 両面テープ貼り付け部(左図斜線部)を一方方向に拭いて脱脂し、⑧PACプライマーを塗布する。  
(左図参照)

6. ①フロントスポイラー(左図斜線部)を一方方向に拭いて脱脂し、⑧PACプライマーを塗布する。  
(左図参照)

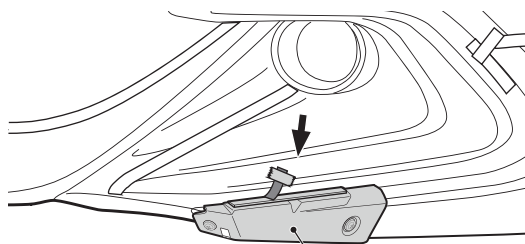
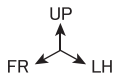
7. センターと高さ位置出しのマーク以外の、マスキングテープを全て剥がす。

(5) 取り付け準備

LH図示 ※RHも同様に



①フロントスポイラー



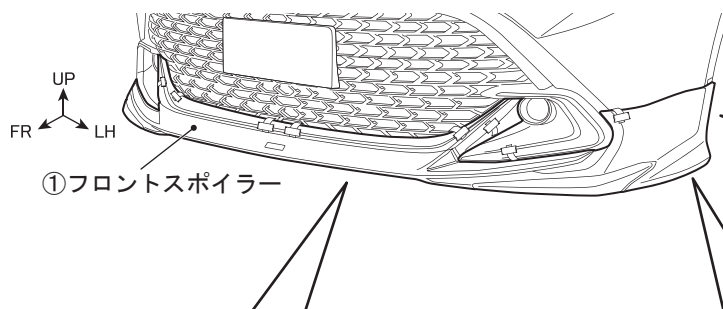
②リテーナー

1. ①フロントスポイラーの両面テープ離型紙を一部剥がし表側に折り返してマスキングテープで貼り付ける。  
(左図参照) (8カ所)

2. 車両バンパーに取り付けた②リテーナーの両面テープ離型紙を一部剥がし上方に折り返して、バンパーにマスキングテープで貼り付ける。  
(左図参照) (左右1カ所)

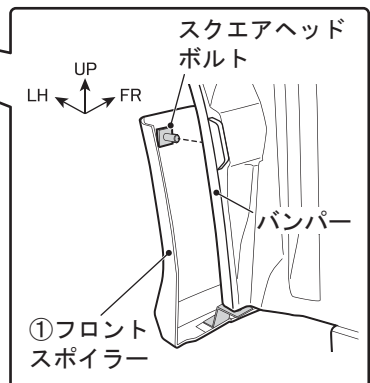
**(5) 取り付け**

LH図示 ※RHも同様に



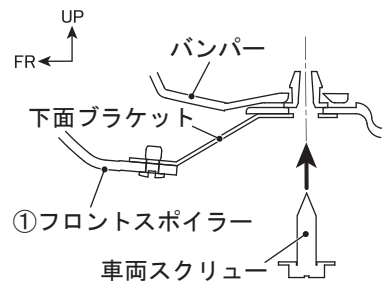
①フロントスポイラー

1. ①フロントスポイラーを車両バンパーと②リテーナーに載せる様に被せ、左右のスクエアヘッドボルトを(2)の手順で開けた穴に通して、下面ブラケットを車両スクリューで仮締めする。  
(左図、下図参照)

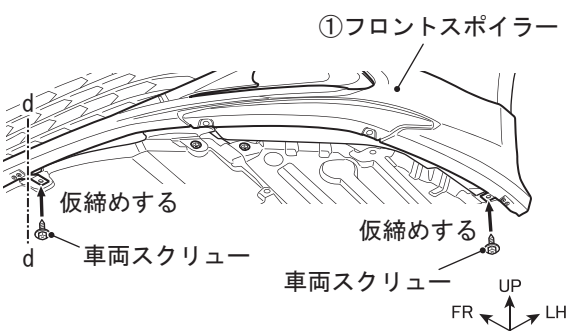


スクエアヘッドボルト  
バンパー  
①フロントスポイラー

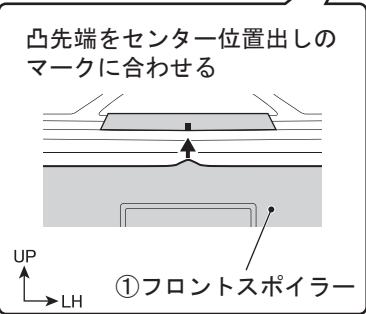
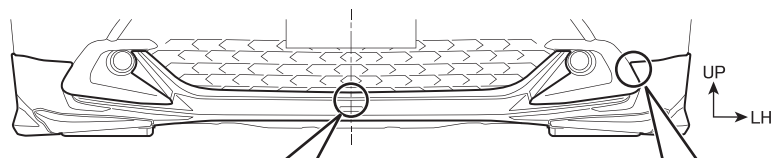
[d-d 断面図]



①フロントスポイラー  
車両スクリュー

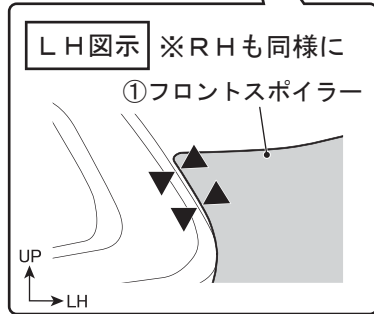


①フロントスポイラー  
仮締めする  
車両スクリュー  
仮締めする



凸先端をセンター位置出しのマークに合わせる

①フロントスポイラー



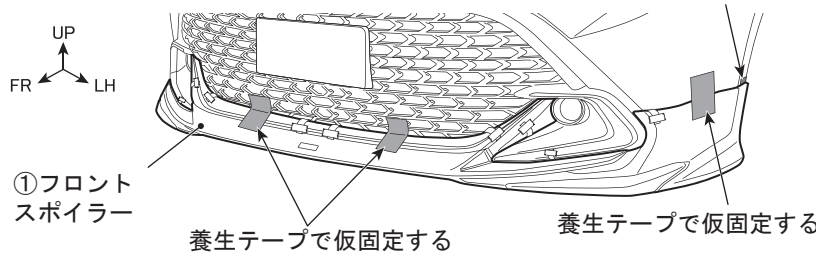
LH図示 ※RHも同様に

①フロントスポイラー

2. ①フロントスポイラー中央の凸先端をセンター位置出しのマークに合わせて車両グリルに押し当て、側面の高さ位置マークにエンドモール先端を合わせ、左図の▶-◀部分の隙を、左右均等になる様にして養生テープで仮固定する。  
(左図参照)

LH図示 ※RHも同様に

高さ位置マークにエンドモールの先端を合わせる



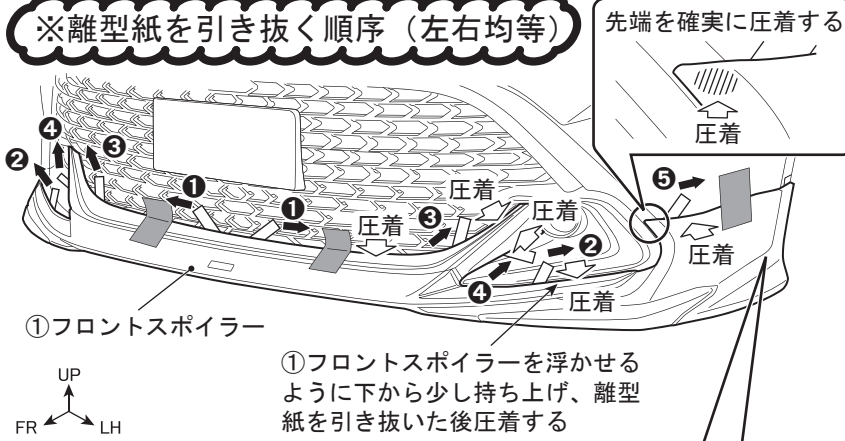
①フロントスポイラー

養生テープで仮固定する

養生テープで仮固定する

LH図示 ※RHも同様に

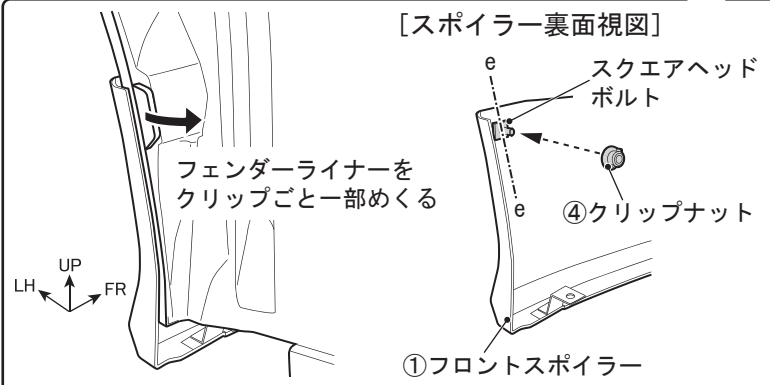
※離型紙を引き抜く順序（左右均等）



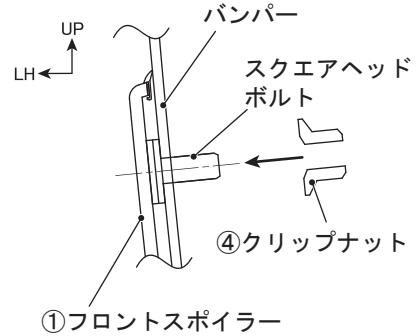
3. 左右のバランス、隙、ズレが無い事を確認して①から順に両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜き、圧着する。②の箇所は①フロントスポイラーを少し浮かしながら引き抜き、圧着する。（左図参照）

4. 車両フェンダーライナーを車両クリップごと一部めくり、車両バンパー裏側から④クリップナットをスクエアヘッドボルトに取り付けて奥まで差し込み、締め込む。車両フェンダーライナーを元に戻す。（左図、下図参照）

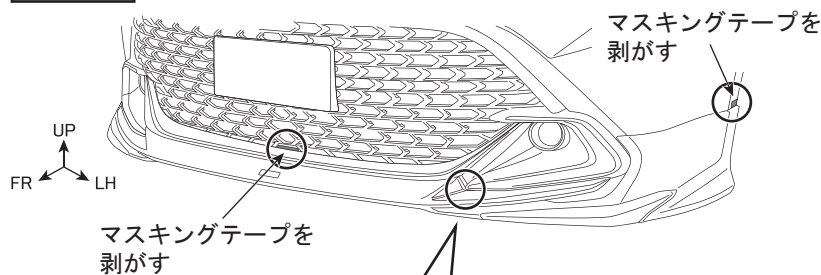
[スポイラー裏面視図]



[e-e断面図]

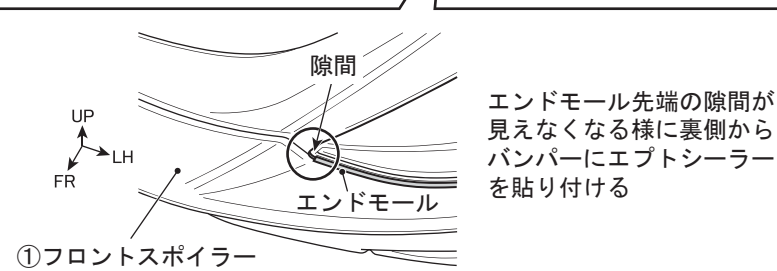


LH図示 ※RHも同様に



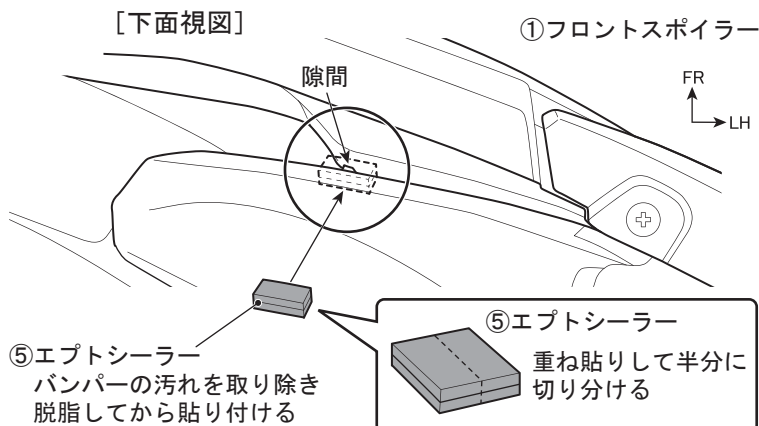
5. 位置出しのマスキングテープを剥がす。（左図参照）

6. 取り付けた両面テープ貼り付け位置を再圧着する。



7. ⑤エプトシーラーを2枚重ね貼りして、半分に切り分け、左図の箇所の隙間が見えなくなる様に裏側から、バンパーに貼り付ける。

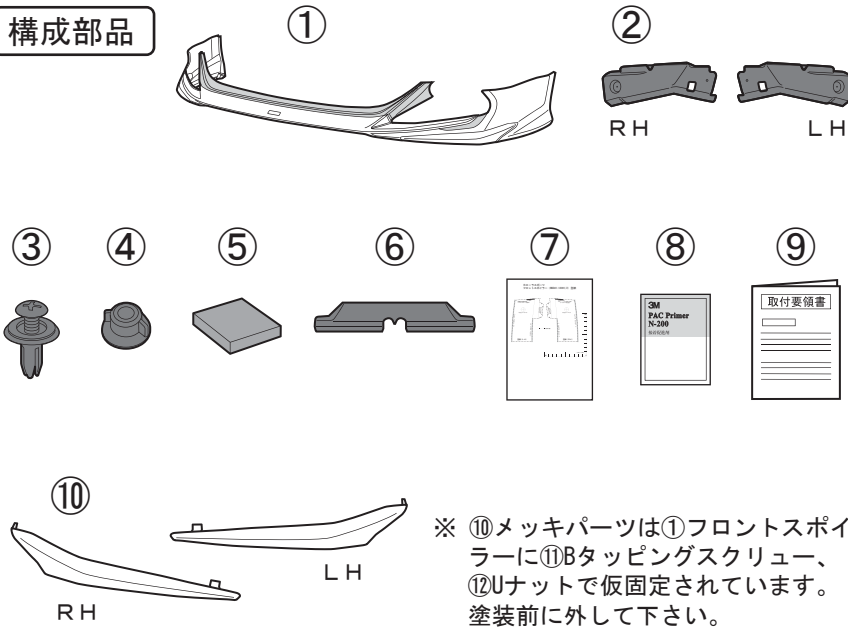
[下面視図]



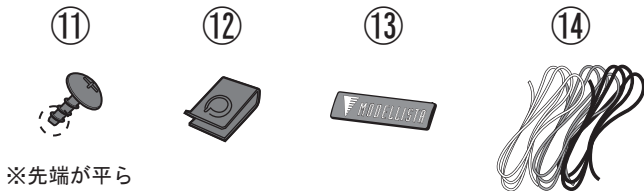
8. 両面テープ貼り付け後、3時間以上放置してから仮締めの車両スクリューを本締めする。

# フロントスポイラー素地品の塗装手順

## 構成部品



※ ⑩メッキパーツは①フロントスポイラーに⑪Bタッピングスクリュー、⑫Uナットで仮固定されています。塗装前に外して下さい。



※先端が平ら

No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	リテーナー (RH/LH)	各 1
③	スクリベット	4
④	クリップナット	2
⑤	エプトシーラー	2
⑥	位置出しゲージ	1
⑦	型紙	1
⑧	PACプライマー (N-200)	1
⑨	取付要領書	1
⑩	メッキパーツ (RH/LH)	各 1
⑪	Bタッピングスクリュー (M4×10)	4
⑫	Uナット (M4)	4
⑬	エンブレム	1
⑭	エンドモール	Lグレー:1 グレー:1 ブラック:1

## ⑭エンドモール推奨使用色

色番号	色名称	モール色
089	プラチナホワイトパールマイカ	ライトグレー
1F7	シルバーメタリック	グレー
1G3	グレーメタリック	ブラック
218	アティチュードブラックマイカ	ブラック
3U9	エモーションナルレッドⅢ	ブラック
4Y8	オレンジマイカメタリック	ブラック
8W7	ダークブルーマイカメタリック	ブラック
2PS	アティチュードブラックマイカ プラチナホワイトパールマイカ	ライトグレー
2XM	アティチュードブラックマイカ エモーションナルレッドⅢ	ブラック

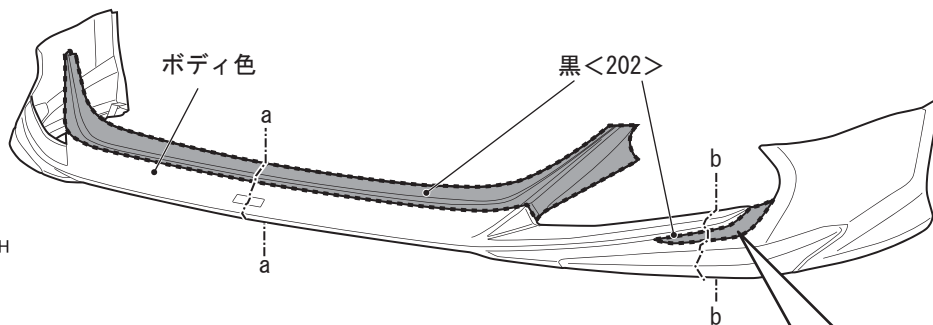
## 塗装作業

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. 製品に貼り付けてある両面テープをマスキングする。
3. プライマー塗装を行なう。

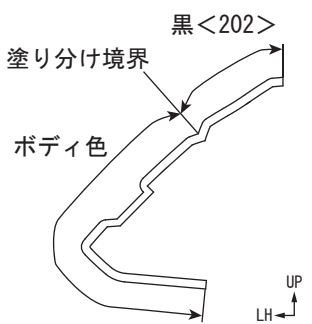
※本製品の素材は>ABS<です。

4. 上塗り塗装を行なう。  
◎注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
5. 乾燥。  
◎注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で乾燥させて下さい。

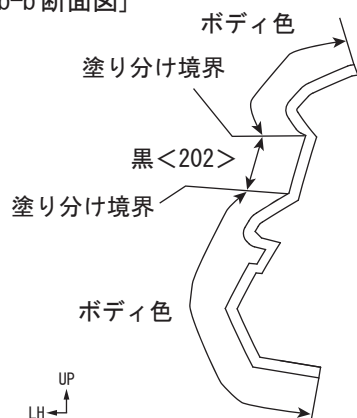
※塗装塗り分け範囲



[a-a断面図]

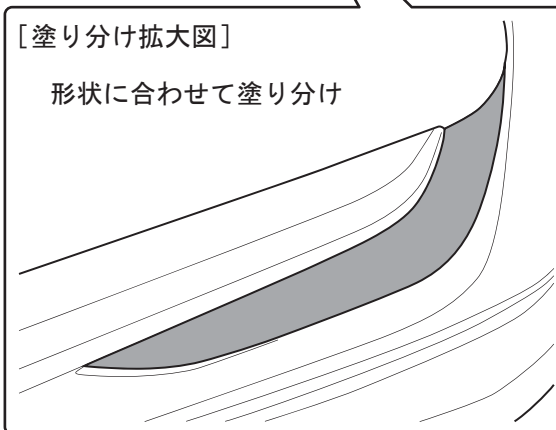


[b-b断面図]



[塗り分け拡大図]

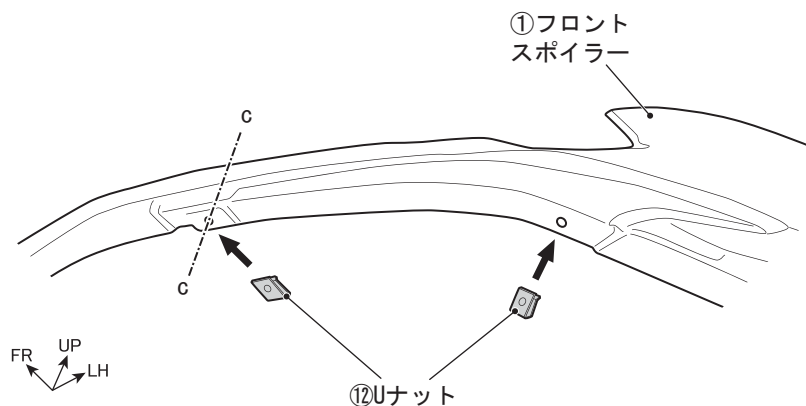
形状に合わせて塗り分け



## メッキパーツの貼り付け作業

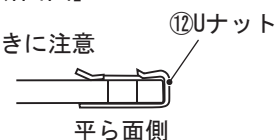
LH図示 ※RHも同様に

1. 塗装完了後、①フロントスポイラーに⑫Uナットを差し込む。(左右各2カ所 計4カ所) (断面図 c-c)



[c-c断面図]

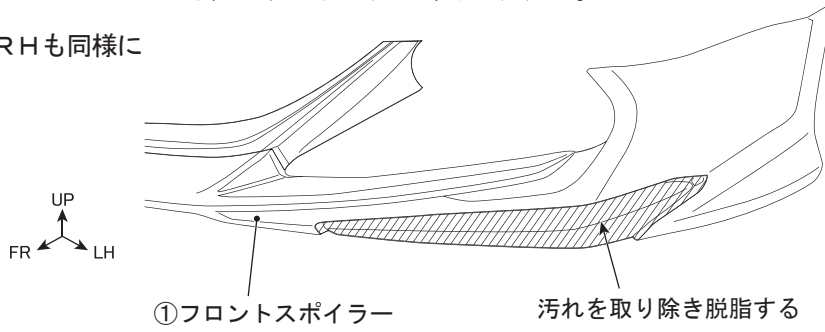
※向きに注意



⑫Uナットの平らな面が、①フロントスポイラーの下側になる様に差し込む

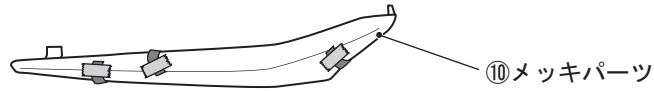
2. ①フロンツスポイラーと⑩メッキパーツの両面テープ貼り付け位置と形状を確認する。
3. ①フロンツスポイラーの汚れ等を取り除き、脱脂する。

**LH図示** ※RHも同様に



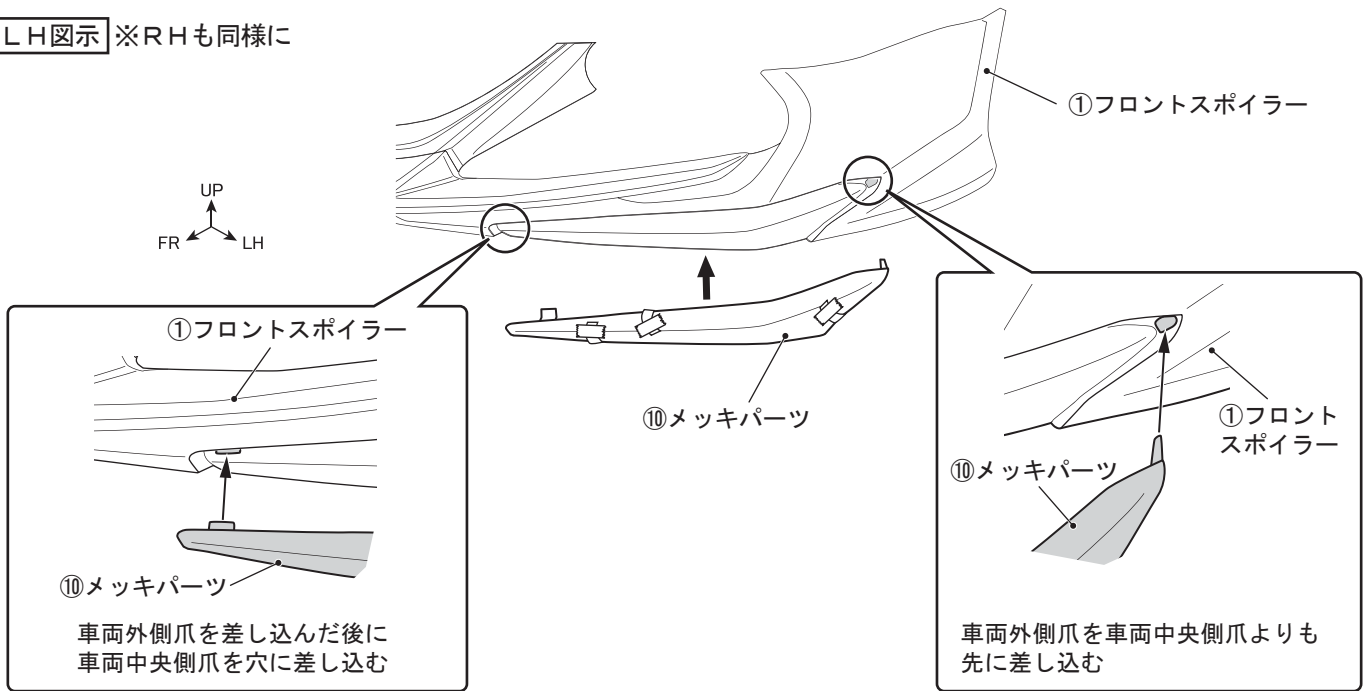
4. ⑩メッキパーツの両面テープ離型紙を一部剥がし表側に折り返してマスキングテープで貼り付ける。  
(左右各3カ所 計6カ所)

**LH図示** ※RHも同様に



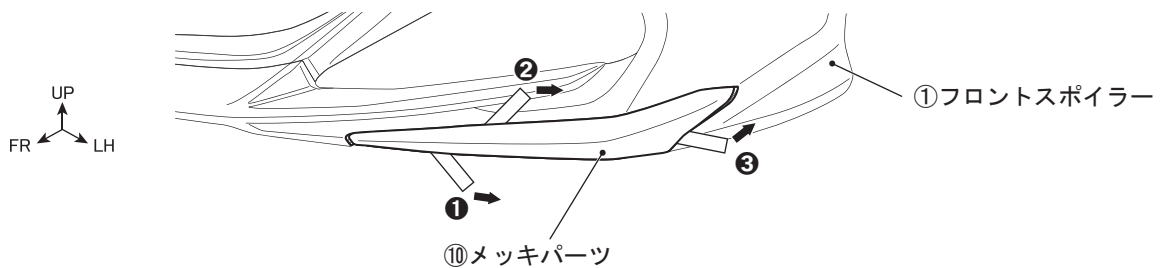
5. ⑩メッキパーツの車両外側爪を先に①フロンツスポイラーの穴に差し込んでから、車両中央側爪を穴に差し込み①フロンツスポイラーの形状に合わせて被せる。

**LH図示** ※RHも同様に



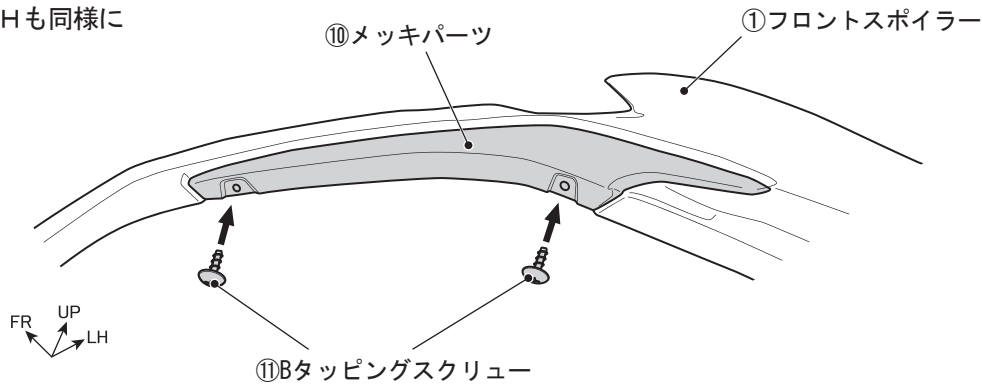
6. ⑩メッキパーツ周囲の隙が一定になる様に合わせ、左右の⑩メッキパーツにズレがない様に注意して、両面テープ離型紙を①から順に両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜き、表と裏から挟み込む様に圧着する。

**LH図示** ※RHも同様に



7. 下面を⑩Bタッピングスクリューで仮締めし、両面テープ貼り付け後3時間以上放置してから本締めする。

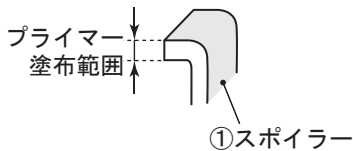
LH図示 ※RHも同様に



### エンドモールの貼り付け作業

1. 塗装終了後、⑭エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑧PACプライマーを塗布する。

#### PACプライマー塗布範囲



#### アドバイス

- ・⑧PACプライマーは①フロントスポイラー取り付け時に再使用します。揮発性が高いため、速やかに袋に戻し揮発を押さえて下さい。
- ・⑧PACプライマーは特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、イソプロピルアルコール (IPA) 等で拭き取って下さい。
- ・⑧PACプライマー塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。

2. 下図の要領で⑭エンドモールを貼り付ける。

#### アドバイス

- ・エンドモールを引っ張りながら貼ると、極端に剥がれやすくなります。絶対に引っ張りながら貼らないで下さい。
- ・エンドモールは必ず奥まで差し込んで下さい。
- ・貼り付け後、十分に圧着して下さい。

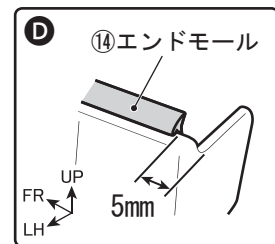
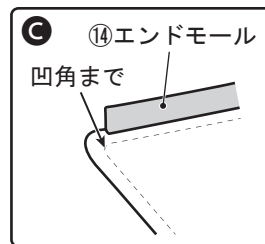
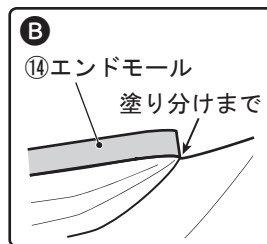
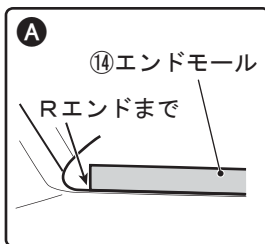
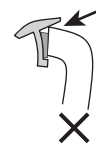
奥まで押し込む



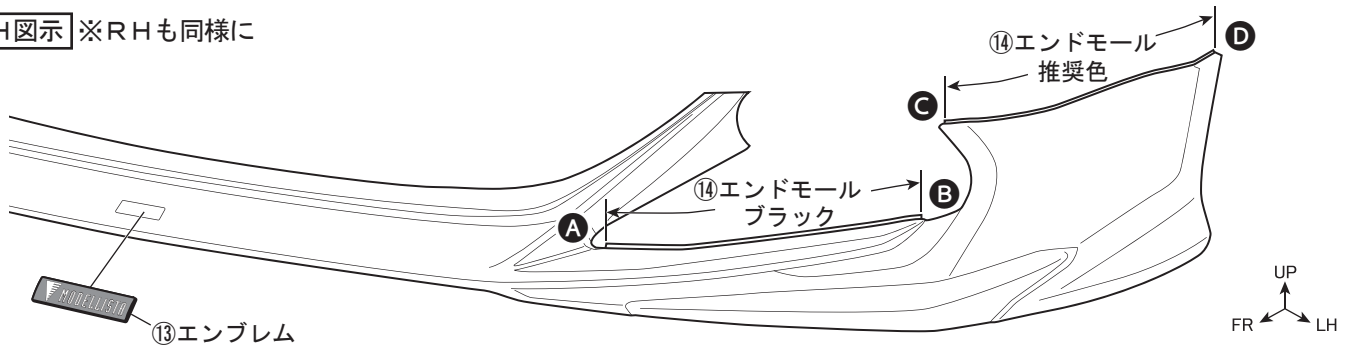
隙間が空いている



傾いている



LH図示 ※RHも同様に

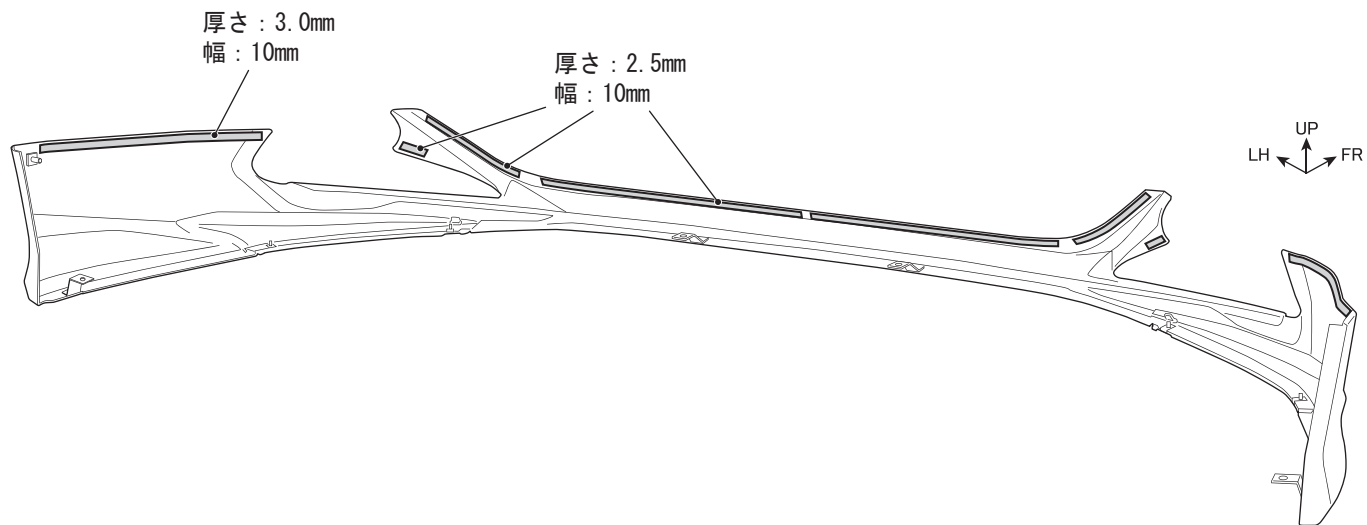


3. ①スポイラー中央のエンブレム貼り付け部を脱脂し、⑬エンブレムを貼り付ける。

## 補修キット両面テープ貼り付け

補修キットを使用して①フロントスポイラーの再取付を行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付けて下さい。

**LH図示** ※RHも同様に



# 脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。  
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を  
解説動画でご覧いただけます。  
右のQRコードよりアクセスのうえ  
ご確認ください。

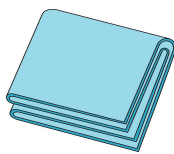


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
  - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
  - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

## ■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



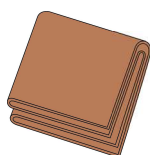
合成セーム皮



脱脂剤用  
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用  
ウエス




WET 用  
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)  
※純度 100%推奨

## ■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。  
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

## ★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

### ■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。  
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。  
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

### ■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

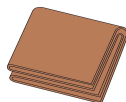


水拭き用バケツ



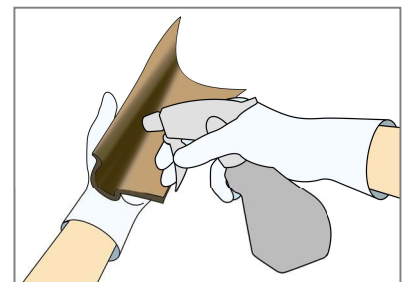
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

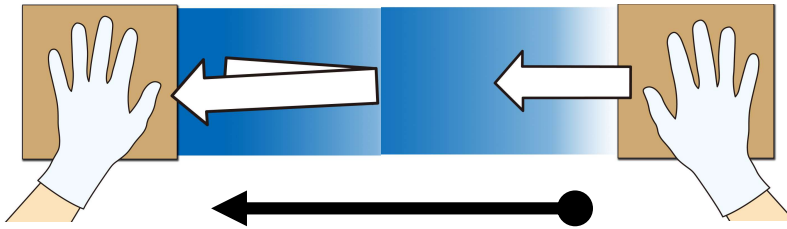
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで  
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に  
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち  
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

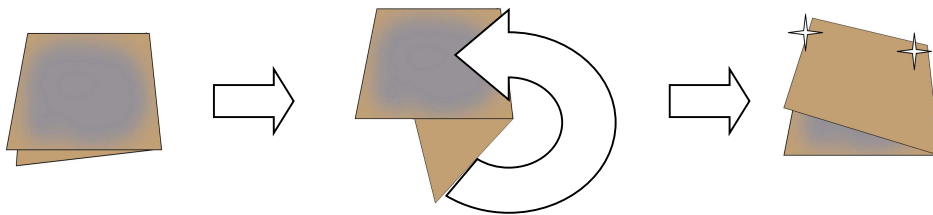
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを  
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が  
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3~5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し  
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に  
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に  
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。  
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。  
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に  
したがって行ってください。